

7月
豪雨

被災者救援に全力 従来の枠超えた支援を

死者・行方不明者 84 人、住宅被害約 1.8 万棟——九州を中心に甚大な被害をもたらした 7 月豪雨。各県の被災地で調査し、被災者の切実な要求を政府に届け、その実現に力を尽くしています。

すぐに現場へ



避難所で真島省三前衆院議員と被災者の話を聞く (7/5、熊本県芦北町)



被災者から被害状況を聞く (7/20、福岡県大牟田市)



大分県議団、日田市議団と国交省九州地方整備局に河川の復旧・整備を要望 (8/24)

命、くらしを守る政治へ

さっそく質問

事業者への定額補助も

新型コロナウイルスの感染拡大のなかでの豪雨災害。中小業者の「もう借金はできない」の声を委員会質問でぶつけ、直接支援を強く要求。政府は熊本で上限 5 億円、福岡・大分・佐賀・鹿児島で上限 1 億円の定額補助金を新設しました。「コロナと水害の二重の被害」のみの条件で適用を広げさせます。



災害対策特別委員会 (7/28)

農業被害も深刻



農業被害調査 (7/19、鹿児島県垂水市)

営農再開できる支援を。被災農家の心が折れない対策を農水大臣に求めました。

鉄道復旧を

JR 肥薩線・久大線、第 3 セクターの肥薩おれんじ鉄道とくまがわ鉄道が被災。鉄道での復旧を支援するよう求めました。



被災鉄道調査 (7/22、熊本県人吉市)

新型
コロナ

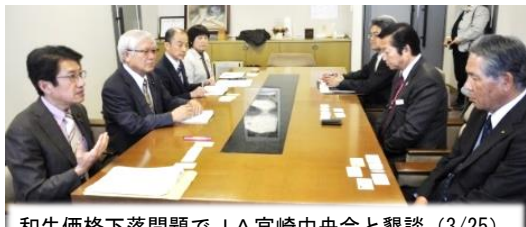
PCR検査の大幅拡大を 自粛・休業の補償おこなえ

各界の声を聞き、国会で要求

医療、労働、文化、観光など様々な団体と懇談を重ね、影響・損失支援を政府に対策を迫っています。共産党の主張、野党共同の力で、PCR検査の拡大、10 万円の定額給付、持続化補助金制度の改善、学生支援、家賃補助などが実現。引き続きがんばります。



九州交響楽団と懇談 (6/3)



和牛価格下落問題で J A 宮崎中央会と懇談 (3/25)



宮崎県で学生と語り合う (6/27)



大分県で民商、民医連、県労連と懇談 (7/6)

住宅再建 支援が前進



濁流にのまれた住宅 (7/12、熊本県球磨村)

国会で再三求めてきた被災者の願いが実現！被災者生活再建支援制度に半壊が対象となり支援金が支出されます。住宅と生業の再建に全力。

夏の
誓い

9条を守る。核兵器廃絶を

長崎市の爆心地公園で、志位和夫委員長、仁比聡平前参院議員、真島省三前衆院議員と献花 (8/8)



終戦 75 年の街頭演説 (8/15)



田村貴昭

日本共産党 衆議院議員

国会 報告

2020年9月 発行：田村貴昭事務所

〒100-8982 東京都千代田区永田町 2-1-2 衆議院第 2 議員会館 712 号室

電話：03-3508-7475 FAX：03-3508-3355

馬毛島 地元の頭越し 米軍訓練移転許されない



菅義偉官房長官、河野太郎防衛相らに、米軍訓練施設建設計画の撤回を求める
(2/18 衆院予算委員会)

政府が馬毛島（鹿児島県西之表市）への米空母艦載機離着陸訓練（FCLP）移転を地元の頭越しに進めている問題をめぐり、国会審議を経ない予算の「流用」で土地買収を行うなど、米軍のためなら何でもありの政府の姿勢を厳しく追及しました。

とりわけ、地元住民・自治体に隠して基地設計まで行っていたことの暴露は、怒りを広げました。この質問を受け、八板俊輔西之表市長も「今後、信頼関係が築けるか不安をもたらすものであり、強く抗議する」と防衛大臣に抗議しました。

質問ムービー、議事録、活動記録をホームページに掲載しています。ぜひご覧下さい。



福岡県建設労働組合（福建労）提供の建設現場の写真を示し、小泉進次郎環境相にアスベスト対策の抜本強化を提案（5/15 衆院環境委員会）

アスベスト

被害の根絶へ 実効ある対策を

「トイレに行くにも呼吸困難になり、こんな思いをするくらいなら殺してくれと何度も言われた」（肺がんで夫を亡くした女性）——吸引から数十年後に深刻な健康被害を引き起こす「静かな時限爆弾」＝石綿（アスベスト）。

あと数年で石綿を使った建物の解体がピークを迎えます。通常国会で「規制強化、をうたう改定大気汚染防止法が成立しましたが、飛散防止対策は極めて不十分。修正案も提出し、実効性ある規制を求めました。」



NO! 自衛隊基地の 米軍使用

普天間基地の機能移転を口実に米軍施設の建設計画が進められている自衛隊新田原基地（写真左、7/27）、築城基地（同右、5/13）を調査

九州・沖縄の課題と向き合い

日田彦山線の 鉄道復旧を

沿線自治体・住民とともにJR九州のバス・BRT復旧案に反対。国会で何度もとりあげました。九州の鉄道ネットワークの維持にこれからも力を尽くします。



福岡県東峰村の渋谷博昭村長と懇談（6/25）

有明訴訟 速やかに開門を



福岡高裁での口頭弁論後の報告集会で連帯のあいさつ（7/3）

諫早湾干拓事業により農漁業に深刻な影響が出ています。昨年末には有明沿岸4県の地方議員らと現地を視察。開門調査を超党派で求めています。

長崎・石木ダム 撤回を

ダム建設予定地に住む13世帯を行政代執行で排除することに抗議。水の需要もなく、治水にも役立たないダムに、国費の投入は認められません。



地元住民とともに座り込み（6/23）

辺野古新基地NO! ジュゴン守れ



今帰仁村の沖合で漂流していたジュゴンの死骸（昨年3/18、今帰仁村漁業協同組合提供）

沖縄本島北部に生息するジュゴンが絶滅の危機に瀕しています。3頭のうち1頭が死亡。国会質問で、辺野古の工事を止めて緊急に生息調査をするよう求めました。

比例九州・沖縄ブロック

前回、赤嶺議員が沖縄1区で勝利。定数20の比例九州沖縄ブロックは1議席（田村）にとどまりました。

こんどは
2議席以上を!



辺野古新基地建設に抗議する座り込みに参加（昨年12/26）

前衆議院議員
まじま 省三

前鹿児島県議員
まつざき 真琴

衆議院議員
あかみね 政賢

衆議院議員
田村 たかあき

「安倍政治」と決別し、新しい政治へ

戦争法など憲法違反の数々の悪法、「モリ・カケ・桜」に代表される政治の私物化、二度の消費税増税で経済悪化、後手後手、ピント外れのコロナ対策、アメリカにもロシア、中国にもモノ言えぬ外交——こんな政治はもうゴメンです。

総選挙で与野党逆転。立憲主義を取り戻し、命とくらしが大切にされる新しい政治を。野党連合政権をめざし、がんばります。



総選挙で
野党
連合
政権を